

# 平成30年度 南相馬市立上真野小学校 グランドデザイン

～学校・家庭・地域の信頼関係を基盤とした「特色ある学校づくり」に努め、子どもの生きる力を育む。～

**相双教育アピール・『愛と英知と創造』**  
**社会につなぎ未来を切り拓く相双の教育**  
 『限りない知性』  
 『感謝と思いやり』 『活力ある心身』  
 『多様な学びと共生』  
 『夢に向かってチャレンジ』

**南相馬市復興総合計画・教育振興基本計画**  
**南相馬市学校教育努力事項**

- 確かな学力の育成 ○道徳教育、生徒指導の充実
  - 体育と健康に関する指導の充実 ○特別支援教育の充実
  - 開かれた学校づくりの推進 ○図書館教育の充実
- ☆取り組みたい9つの課題☆

## 教育目標

「生きる力を育み、みんなと共に自己を高めることができる子どもの育成」

**思いやりのある子ども** **進んで学習する子ども** **体をきたえる子ども**

## 重点目標

**よく聞き 考え 行動しよう**

- 低学年 … 話を聞いて行動しよう
- 中学年 … 進んで行動しよう
- 高学年 … 責任を持って行動しよう

### 学校経営5つの理念

- 1 本校の歴史と伝統を重んじ、人間尊重の精神を基盤とした教育を推進する。
- 2 徳・知・体の調和を図り、心豊かで、かしこく、たくましい子どもを育成する。
- 3 小規模校のよさを生かし、上真野ならではの教育活動を展開する。
- 4 家庭・地域との連携を大事に市、望ましい教育活動を展開する。
- 5 事故防止に配慮し、安全・安心な学校教育を推進する。

《めざす子ども像》こんな子どもに…

- 相手を思いやり、互いに認め合って楽しく生活する子ども
- 基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得し、これらを活用して主体的・対話的に問題を解決する子ども
- 健康や運動に関心を持ち、目標に向かって粘り強く取り組む子ども

《めざす学校像》こんな学校に…

- 子ども一人一人の良さが生きる学校
- 教育環境（人・もの・こと）の整った学校
- 社会に開かれ、安全と安心が保たれた学校
- 不祥事のない信頼される学校

《めざす教師像》こんな教師に…

- 教育者としての使命感と誇りを持ち、職責を果たす教職員
- 研修に励み、専門的な力量を身につけようとする教職員
- 豊かな人間的資質をみにつけるために努力する教職員
- 子ども・家庭・地域・同僚から信頼される教職員
- 心身ともに健康で、明朗快活な教職員

## 豊かな心<徳>

◎ 相手を思いやり、互いに認め合って楽しく生活する子どもを育てます。

- 1 道徳の実践力の向上  
「考え議論する」道徳の実現に向けて指導法の工夫に努める。  
○重点価値の位置づけ  
○「特別の教科道徳」の授業の充実  
○おだやかな心での生活（朝の読書）  
○善行の発表（朝の相談会、帰りの相談会）
  - 2 思いやり助け合う集団の育成  
小規模校のよさを生かし、連帯意識を高める活動を充実する。  
○思いやり助け合う縦割り活動の充実  
○話し合いをもとにした児童会（学級活動）  
○いじめの積極的な認知と迅速かつ継続的な対応
  - 3 体験・ボランティア活動の充実  
家庭・地域との連携を深めながら体験・ボランティア活動を進める。  
○専門家招致による体験活動の充実  
○地域教材や人材の積極的な活用  
○保育園との交流
- 不登校「0」の推進
  - いじめ重大事案「0」と要注意事案解決100%
  - 「相手の気持ちを考えて生活できる子ども」80%以上

## 確かな学力<知>

◎ 基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得し、これらを活用して主体的・対話的に問題を解決する子どもを育てます。

- 1 基礎的・基本的事項の定着  
児童一人一人の学習状況をとらえたきめ細かな指導をする。  
○習熟度別適用問題の活用と工夫  
○「学習の広場」、「定着確認シート」、スキルタイム、個別指導の時間の活用
  - 2 授業の改善充実  
「わかる・できる授業」の推進に努める。  
○自分の考えを書く時間の設定  
○協同的なペア・グループ学習の充実  
○主体的・対話的で深い学びの実現  
○振り返りの場の設定  
○ICT機器の効果的な活用  
○特別支援教育の充実（交流学习）  
○授業スタンダードの活用
- 市学力テスト偏差（国・算）  
前年度比UP児童の割合 70%以上
  - 「進んで学習に取り組む子ども」80%以上

## 健やかな体<体>

◎ 健康や運動に関心を持ち、目標に向かって粘り強く取り組む子どもを育てます。

- 1 めあてを持った日常の体育活動の推進  
「柔軟性」「筋力」の向上をめざして計画的・継続的な指導に努める。  
○意欲を高める学習カードの効果的活用  
○体力向上に向けての場の設定の工夫  
○運動身体づくりプログラムの活用
  - 2 保健・安全への実践的態度の育成  
健康や安全な生活について話し合い、実践できる場の設定を工夫する。  
○健康や安全への意識の高揚  
○保健委員会、学級の係としての呼びかけ  
○家庭との連携強化  
○実践発表（朝・帰りの相談会）  
○朝食調べを通しての食育指導
- 新体力テスト全国平均UP「柔軟性」「筋力」
  - 「進んで体をきたえる子ども」80%以上
  - 欠席0の日の推進「50日」達成

## 教師の資質・指導力の向上

◎ よさを認め、励まし、伸ばす指導で子どもの「生きる力」育みます。

- 1 積極的な生徒指導を推進する。  
○信頼関係を土台とした学級経営  
○子どもの心に寄りそった言葉かけ
  - 2 現職教育を中心に研修の充実に努める。  
○校内・校外研修の充実  
○自ら学び「わかる授業」の積み重ね
  - 3 服務倫理委員会の積極的な運用を図る。  
○風通しのよい職場の雰囲気づくり  
○事例に学び・生かす組織的な取り組み
  - 4 人事評価システムの活用を図る。  
○個々の努力目標の設定と実践・評価  
○校務分掌の確実な遂行
  - 5 危機管理体制の構築  
○内外からの点検・評価・改善  
○日常生活での危機管理意識の高揚
- 児童にかかわる学校事故「0」の推進
  - 教職員に関わる事故・不祥事「0」
  - 率先垂範のできる教職員

開かれた学校づくり

地域の特色を生かした教育活動

保・小・中連携

郷土文化の理解と報徳仕法の教育

各種便りの発行（情報の発信）

保護者・地域との連携